

2022年6月16日  
実施報告

## 午前の部 参加校

97人の児童の皆さんに参加いただきました!

【神奈川県】横浜市立 新井小学校 5年生 27人  
 【岐阜県】 揖斐川町立 春日小学校 5・6年生 3人  
 【兵庫県】 たつの市立 龍野小学校 6年生 39人  
 【広島県】 広島市立 己斐東小学校 5年生 28人



## 午後の部 参加校

142人の児童の皆さんに参加いただきました!

【神奈川県】横浜市立 新井小学校 5年生 27人  
 【東京都】 練馬区立 小竹小学校 6年生 44人  
 【奈良県】 生駒市立 生駒南第二小学校 6年生 35人  
 【広島県】 広島市立 己斐東小学校 6年生 36人



## 参加校の先生より

- ・全国の小学校とつながって学習することは初めての体験でした。最初は緊張していた子どもたちでしたが、次第に自分の考えを伝えようとする子が出てきました。
- ・自校の児童だけではなく、多様な考え方をもつ児童の考えに触れながら、授業を行えることは大変有意義なことだと思います。自分の考え方を見つめ直し、新しい考え方をもつことができたのではないかと思います。
- ・オンラインでほかの学校ともつながれる貴重な経験であり、楽しみながら情報との関わり方を学んでおりました。
- ・情報を伝える側の意図を考えることは、子どもたちにとって新鮮でした。関連する学習はしてきましたが、ワークショップ形式で学ぶことを通して、考えを深めることができました。映像の中で、何が大切であるのか、伝える側も受け取る側も意識していく必要性を感じました。特にインタビューの動画については、私たちが取捨選択「された」情報を受け取っていることに気付くととてもよい機会となりました。
- ・多様な考えや価値観を認め合うこと、作り手の意図を考えることなど相手のことを思いやる行動がいつの時代も必要だと改めて感じました。
- ・学校紹介の機会があって、自分の学校のどんなことを紹介しようか…と学級で相談したり、考えたりすることが次のステップへとつながるきっかけとなりました。実施後、別のオンラインイベントでの学校紹介に、挑戦してみたい!と手を挙げる児童が予想以上にいたことは、この教室での経験があったからこそだと感じました。



## 参加児童へのアンケートより

### 学んだこと

- ・アップとルーズで印象が変わるのが分かった。編集や加工などでかんちがいなどが起こったりするのが知れて良かった。
- ・意見は人それぞれちがうと改めて感じたから、自分の意見と相手の意見、両方しっかり取り入れたいと思った。
- ・情報を受取るときには、思いこみが危ないということを知りました。また、送り手になるときは受け手の気持ちをよく考えなければいけないということが分かりました。

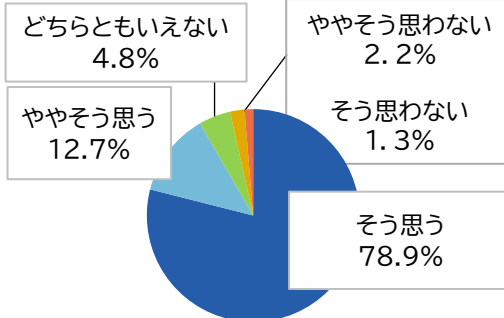
### 参加した感想

- ・ふつうの授業とは違って、他校のみんなと一緒に(勉強)できて新せんだった。自分の意見を言えて達成感があった。
- ・もっとほかの学校の発表も聞きたかったけど、すごく楽しい2時間でした。
- ・メディアのことをよく考えたことがなかったので、学んだことを家族に教えようと思いました。

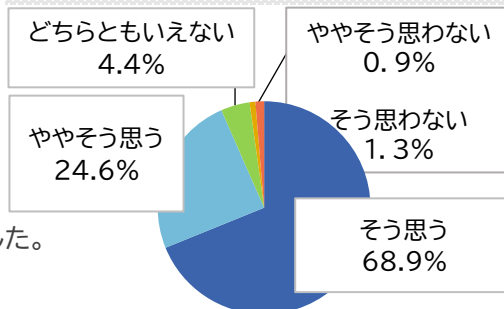
### これから生かそうと思うこと

- ・アップとルーズの使い分けを生かしたい。
- ・(画像)加工のし過ぎはだめだと思ったし、見る側も本当かどうか気をつけないとだめだと思いました。
- ・学んだことを生かして、作り手の意図にも目を向けようと思った。

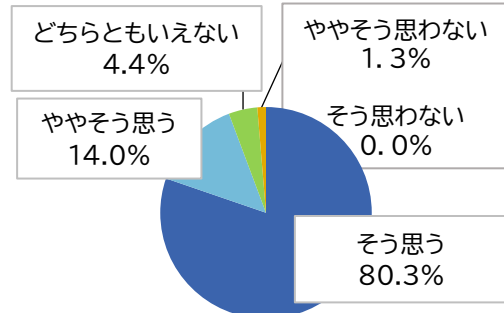
### Q.この教室は楽しかったですか。



### Q.これらにとって役に立つことが学べたと思いますか。



### Q.ほかの学校の発表を聞いて、色々な考えを知ることができましたか。



## 進行役・大橋 拓アナウンサーより

今回は、これまで以上にたくさんの子が手を挙げてくれて、嬉しかったです。アップとルーズが持つ特性や、その画像を使ったねらい、画像加工のメリット・デメリットなど、こちらが質問を重ねてもしっかりと答えてくれ、真剣に考えているのが伝わってきました。メディア・リテラシー教室も本格的にスタートして1年がたちますが、他の地域の学校とつながり、互いに意見を交わすことの意味を、教室を行うたびに感じています。

